

1. 開催目的

3.11 をきっかけとして、様々な社会課題が明らかとなり、個人ベースでは、生き方、働き方を変え、地域活動やボランティア活動に参加したり、ソーシャルビジネスに取り組み始めたりする人が増えてきています。

一方、コミュニティ、企業、国家ベースでは、セーフティネットとしてのコミュニティのあり方、高齢者に優しい復興住宅のあり方、次世代が活躍することのできる産業復興のあり方など、3.11 後の新しい東北、新しい日本の姿を描いていこうという動きが進んでいます。

本イベントは、このような、3.11 後、見えてきた課題やその解決に向けた動きを踏まえ、実践を行う社会的企業家と、社会の動きを学術的に分析している学者とが、共に語り合うことで、新しい社会システムのあり方、その糸口を模索し、形式知化し、それを広めていくことを目的としています。

2. 開催報告

① 第1回

- 日時：2013年11月23日（土祝）18時～20時
- 場所：スワン カフェ&ベーカリー 赤坂店（東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル1F）
- 内容：社会企業家をホストとして、ご自身も二人のお嬢さんを育てていらっしゃるということからも、経済や社会システム論にとどまらず、育児、教育制度、原発、エネルギー、少子高齢化など、様々な社会的課題に対して、深い考察と発言をされている社会学者の宮台真司先生をお招きしたトークセッションとして展開した。
- モデレーター：熊野英介氏（アマタホールディングス株式会社 代表取締役 会長兼社長）
- ホスト：藤田和芳氏（株式会社大地を守る会 代表取締役社長）
- 講師と講演テーマ：宮台真司先生（首都大学東京教授 社会学博士）〔環境倫理学及び民主主義の本来の意味を問い直し、新たな社会システムを構築する可能性について〕
- 参加人数：34名



② 第2回

- 日時：2014年1月17日（金）19時～22時
- 場所：スワン カフェ&ベーカリー 赤坂店（東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル1F）
- 内容：現代社会の問題点にスポットを



当てた映画ソーシャルシネマ「サバイビング・プロGRESS - 進歩の罫」を題材に、映画を見た後に、社会企業家と、新しい社会システムのあり方とその糸口を模索する、「ソーシャルシネマ・ダイアログ」として展開した。

- モデレーター：熊野英介氏（アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長）
- ホスト：海津歩（株式会社スワン 代表取締役社長）
- 参加人数：18名

③ 第3回

- 日時：2014年3月7日（金）19時～22時
- 場所：アマタホールディングス株式会社東京本店（東京都千代田区九段北三丁目2番4号）
- 内容：岩手県陸前高田市を一つのモデル都市とし、どの被災地域、ひいては日本のどの地域にも参考にさせていただくことのできる、新しいまちのモデル（ソーシャルビジネス・タウンモデル）を検討するワークショップを、「誰もが働くことのできるまち」というテーマに絞って展開した。
- モデレーター：熊野英介氏（アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長）
- 講師と講演テーマ：河野通洋氏（株式会社八木澤商店 代表取締役）〔陸前高田市の状況について〕、成澤俊輔氏（株式会社ISFnet ハーモニー広報戦略部長兼、NPO法人FDA理事）〔22大雇用とアイエスエフネットの手法について〕、前田有香氏（立教大学大学院 文学研究科教育学専攻博士課程前期課程）〔デンマークの事例について〕、海津歩氏（株式会社スワン代表取締役社長）〔スワンの取り組みについて〕
- 参加人数：31名

